

令和3年度（第1回）図書館協議会会議録

- 【日時】 令和4年3月15日（火） 午後1時30分～2時50分
【場所】 生涯学習センター 研修室
【出席者】 岡野委員長、山口委員、吉原委員、
三宅委員、金指委員、土谷委員
【欠席者】 野村委員、三芳委員
【事務局】 図書館長、主査、主任
【傍聴者】 なし
【担当部署】 教育部生涯学習課図書館

【会議の経過】

1. 開会 図書館長
2. あいさつ 岡野委員長

3. 議事

- (1) 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について
資料を基に事務局説明（説明員 図書館長）

〔質疑・意見〕

(委員) 令和3年度4月催事のぬくぬくおはなし会について、24人参加、予約制、親子で実施したと思うが、おはなしの中身などをもう少し詳しく説明してほしい。

(事務局) 小さい子なので保護者と一緒に参加で、わらべうたを中心に開催しました。一緒にわらべうたで遊ぼうということですが、このような時期なので触れ合ってはできないですが、間隔をとって、色々なわらべうたの紹介、みんなで一緒に遊び、わらべうたに関する本の紹介を行いました。2回に分け、1回の参加者を少なくして行いました。

(委員) 1回の時間は何分なのか。

(事務局) 30分です。

(委員) 事前の予約なのか。

(事務局) そうです。

(委員) 何歳くらいの子なのか。かなり小さい子なのか。

(事務局) 0歳から保育園に入る前の子、2、3歳くらいの子です。

(委員) 時間は午前中なのか。

(事務局) そうです。

(委員) アンケートについて、自由意見があったということで大体何件あったのか、主なものをひとつかふたつ教えてもらいたい。

(事務局) ひとりでいくつか書いている人もいます。

(委員) 一つ一つの件数ではなく、何人でもよいが。

(事務局) 意見数であれば、集計すれば出ますが。

(委員) 件数は後日(※)でもよいので、どのような意見があったのか。

(事務局) ※ 後日回答 自由意見 333 件

(事務局) お褒めいただいている中で、11/14のおはなし会に来て、企画展示を見てスタッフの方の意欲を感じて嬉しくなったというご意見があった。そのほか、貸出点数や期間について、もう少し長くしてほしい、DVDやCDは2点までとなっているがDVDを1点では少なすぎる、というご意見があった。閲覧スペースをもう少し広くしてほしいというご意見があった。

(委員) CDの関連で、市立図書館にない場合、本は他のところから借りられるが、CDやDVDは借りられないのか。

(事務局) 最近、そのような要望があり、他の市町村からは、日高市もそうですが、CDやDVDは破損や弁償という話になると高額なため、貸し借りはしていない状況です。

(委員) お互いにも貸し借りしないということか。

(事務局) そうです。貸し借りをしていない状況でなんとかならないかというご意見をいただきまして、埼玉県立図書館にあるものであれば、県立図書館から取り寄せて貸すことができるように取り扱いをさせていただきました。

(委員) それは始まっているのか。

(事務局) はい。

(委員) 3月の実績の、今、展示中の「傷ついた本たち」は毎年展示していると思うが、見るだけで胸が痛むが修復できなかった場合は同じものを購入するのか。

(事務局) ものによってですが、絶版で買えないものも多々あります。

(委員) それを返却に来た方にはペナルティーはないのか。

(事務局) 基本的には同じものを弁償していただくこととなりますが、皆さんが了承する訳ではなく、ご自分では覚えがないという方もいらっしゃいます。

(委員) 大体は弁償してくれるのか。

(事務局) そうです。後は、借りる前にそういう状態になっていたというものもあります。書架から持ってきたらすでに水濡れしていたり、落書きがしてあったり、という状態になっているというものもあります。

(委員) でも、半数以上は弁償してくれるのか。

(事務局) そうです。

(委員) テーマ展示で時事のテーマなどを扱うということであるが、今、起きているウクライナのことについてのテーマ展示などは今後あるのか。

(事務局) 今後あるかどうかについてはいますぐに、あります、という計画はお答えできませんが、状況によってはそのようなこともあります。

※ 3/17 から「ウクライナと東欧の絵本」の展示を行っている。

(委員) 日高市子ども読書活動推進計画(第3次)を策定するということだが、その素案は誰が作成するのか。

(事務局) 事務局の方で作成します。

(委員) 協議会で協議するということか。

(事務局) はい。その場で配布ではなく、会議までに一読いただく予定でいます。

(委員) 学校での交流で読み聞かせやおはなし会をしてもらったり、逆に、小学校から図書館に行ったりして良いと思うが、武蔵台中図書委員さんとのやり取りについて初めて聞いたので、どのようなものなのか教えてもらいたい。

(事務局) 武蔵台中とは図書委員さんとのやり取りの前に研究事業等に図書を貸出して、生徒と一緒にテーマ展示に取り組むということが何年かあって、その続きで、図書館で今年度から新しく作成した一箱本箱という展示の一つの企画として図書委員さんに本を選んでもらえないかと先生に相談したところ、やってみます、ということで、夏休みに実際に図書委員さんが図書館に来て、30cm四方の箱の中に、自分でテーマを決めて、例えば、宇宙であるとか、恋愛であるとかのテーマで5、6冊、図書館蔵書の中から本を選んでもらい、そこに飾りつけを自分でして展示してもらいました。

(委員) それぞれ、5人くらいの図書委員さんの5通りのテーマがあるのか。

(事務局) そうです。図書館に来る前に生徒さんと、こういう本は図書館にある、ない、など相談しながら、実際、図書館に来た時には、そういった本の他にこんな本がある、と提案しながら作っていきました。

(委員) 親子ひろばを行っていて、ビッグブックが必要不可欠でよく借りることがある。昨年、久しぶりに借りた本の中にテキストというものが付いていて驚いた。前に借りたものにはそういうものは付いていなかったのが感激したが、それはどういう経緯でそうなったのか、ほとんどの本に付いているのか。

(事務局) ほとんどの本に付いてなくて、ものによって付いているものがあり、本と一緒に貸出しをしています。

(委員) こういうものがあつた方が読み聞かせをするのによいという意見なのか。

(事務局) 元からビッグブックにセットで付いていて、元から付いているものは一緒に貸出しをしています。付いていないものをこちらで作るといことはしていません。付いているものはバーコードの上にテキストありというシールが貼ってあります。

(委員) 本を購入したときから付いているということか。

(事務局) そうです。

(委員) この図書館は行動的で色々なことをしており、すごく良い図書館だということが分かった。イベントなども頑張っている。しかし、アンケートの結果を見ると、結局、資料が足りない、自分が欲しいと思っている本がそこにあるということだ。

ある。レファレンスをして色々照会はしてもらえるが、やはりそこにはすぐその場でできないということがある。それから、私は楽譜が必要というときが結構あるが、前は楽譜のコーナーがあって、ピアノの楽譜や色々な楽器の楽譜がひとまとめに置いてあり、流行歌など色々あったが、まとまってひとつになっているところが消えてしまった。

(事務局) 場所が変わりました。

(委員) 場所が変わったことによって、数がすごく減って、自分で検索できる場所がなくなってしまったという結果になっている訳で、例えば、今、美空ひばりのリバイバルなどもたくさん行って、美空ひばりの曲だけを楽譜で集めてあるものであるとか、そういうものも欲しい訳であるが、あまりそういうものがないと言うか、自分の欲しいものがないから、結局、そこに行っても資料がないから、鶴ヶ島や飯能にはまあまあある、そういうことになると、折角良い図書館なのに来ないという点もあると思う。

移動図書館がうちの方に月2回火曜日に午前中に来て、絵本などもいっぱい積んでいるが、残念ながら、ぴよぴよという幼児とお母さんが交流できるようなときがあるが、それとずれている。結局、移動図書館の都合もあるし、その時間はあるかもしれないが、月2回来ているのが月1回になっても、こちらの都合に合わせてもらえれば必要な人が利用できるのではないかと思う。いつも自治会館の駐車場のようなどころに来ているので、自治会館に返却箱を置いてそこに返すようにすれば、特に期間についてどうこうということはないのではないかと思う。

ビブリオトークがあるが、他のイベントに比べていつも10人以下ということが多いので、そのあたりは宣伝不足のところもあるのではないかと思う。ビブリオトークがどういう内容でどういう年代の方を対象にしている、ビブリオトークに参加することによって、その人は本の説明をしなければいけないのでそういう能力が養われるものなのではないかと思うが、どういう良いことがあるのかなどもっと宣伝して参加者を増やすようにしたら良いのではないかと思う。

(事務局) ビブリオバトルは30人以上の参加があります。

(委員) それでは、ビブリオトークというのものもあるのか。

(事務局) ビブリオトーク会というのはこれくらいの人数的の方がベストという感じです。

(委員) 少人数ということは、来る人がそこで固定してしまっているのではないかと思うが、そういうことはないのか。

(事務局) ビブリオトーク会は読書会のようなもので、大体、高校生を中心に行っています。ビブリオバトルに参加してくれた高校生などに声をかけ、強制ではなく、特に募集を新たにかけてはいませんので、読書会の人数的としてはこれくらいの人数的がベストという感じです。どうしても固定になってしまっていますが。

(委員) すごく良いことなので、できれば大勢の人が来てくれれば良いと思う。

(事務局) バトルの方は大勢の人の参加があると良いと思います。

(委員) 結局、私の方もビブリオバトルとかビブリオトークとか言ったときに、実際には

どういふことを行ふのかという具体的なイメージがあまり湧かないので、その辺は説明的なものをひと言加えてもらえると良いと思う。市報に載っているのをこの間見たら、内容が少しだが解説がしてあったのですごく良くなったと思う。市報に載っている図書館の行事、イベントの説明、それは良くなったと思う。それと、演奏会があったときに参加したのと、手ぬぐいか何かで本のカバーを作るといふのがあってそのときに行ったが、手ぬぐいで本のカバーは、ちょっとゴアゴアしてしまうし、実際的にそれを使えるようなものでもないと思ったが、そこに、こういう手ぬぐいを使ってやるための本がこれがけありますよというふうに表示がしてあり、それを見れば良いかという感じだったが、一般で来てくれる人は実際に自分でもすぐ使えるというところが良いのかなと思って来るので、内容が、ん？と思うようなのはどうなのかと思う。お子様向けはすごく色々行っているが、図書館の庭に小さな動物園のようなものを、常時ではなく、たまにで良いので作ったらどうかと思う。例えば、サイボクは子ブタと遊べるところがあるが、サイボクに話してブタをその日だけ借りてくるとか、武蔵横手の駅にいるヤギとか、あとは馬、仔馬で乗れるようなものを巾着田にも時々来たりとかしてくれるような小さな動物園みたいなもので、小さいお子さんと親御さんを図書館に向けるようなイベントはどうかと思う。

それと、本を買うときに必要なものを買う訳だが、図書館に委託されている方が選定するのか。

(事務局) 最終的に決定するのは職員で選定しています。

(委員) こういう本を買ってほしいという希望は出せるのか。

(事務局) そうです。

(委員) 関連で、蔵書を増やすという件だが、日高の図書館に物理的に手を入れないとして、まだ増やしてもスペース的に置くことは可能なのか。

(事務局) もう、いっぱい、毎年除籍を行っており、計画的な除籍を行っています。

(委員) この建物で冊数を大幅に増やすのは難しいということか。

(事務局) 貸出している本、循環して移動図書館車に持って行っている本、公民館に配本している本の分があるので、買った本すべてが書架に並ぶ訳ではないため難しいところですが、コンスタントに新刊を増やさないと魅力ある図書館にならないので、新刊は増やしていきます。

(委員) 奥の方にも普段出していない本があると思うが、増やしたければ入れられるのか、もちろん予算のことはあるが増やそうと思えば寄付など方法はあると思う。ただ、収められないとなるとどうなのか。

(事務局) 寄贈に関して、コロナウイルスの関係があつて、ここ何年か寄贈は減っていましたが、ここにきて、また、増えてきています。大体12月、3月は寄贈の本が多い月で、今月は多くの寄贈を受付けていますが、その中で実際蔵書として使える本はそれほど多くはありません。

(委員) ほぼ、いっぱいになっているということなのか、今の構造の中では。

(事務局) コロナウイルスの関係で図書館を閉めているときに、かなり書庫の方は除籍をして整理をしましたので、パンパンという訳でもないです。

(委員) それに関わることで、幼児向けの紙芝居、パネルシアター、絵本などがかなり古い時代のもものばかりである。ある程度、新刊などが色々出ていると思うが、差し替えなど予算的なことがあると思うが、なんとかクリアしてもらえれば、お母さんたちはいいと思うし、パネルシアターの台がだいぶ汚れて相当ひどいので買い替えもしてもらえるとありがたい。また、年々、時代とともに看護や医療関係の本を、ちょっと調べたくても、来ても古いことが多いので、すぐそばに保健師さんもいる訳なので、今の時代のニーズにあった本を置いてもらえれば助かる。何人かから、図書館に行ってもそういう関係の本はないという話も聞くので、検討してもらえれば利用する人にとってはありがたいと思う。

(委員) 医療関係では、最先端だとインターネットになるのでは。

(委員) そのほうが手っ取り早い。その辺が難しいところである。

(委員) 1年生に入る子にカードを作ってもらって、2年生は図書館見学に来て借りたりしているが、そういうことを初めてから小学生の貸出が増えたなど、冊数の中で子どもたちの利用の割合や総数は増えているのか。

(事務局) 全体の冊数のみで、分かりません。

(委員) 良いきっかけにはなっていると思うが。

先ほど図書館のことをPRするのがアンケートでも、まだ、というところがあるということだが、例えば、武蔵高萩駅のところには本を返すボックスがある、公民館でも返せるということ、自分でも知っている人には言うが、そうなんですか？というふうに言われるので、色々なところでPRしてもらえれば、借りるのも、返すのも、中々ここに来られなくてもできるということ知らせていけば増えるのではないかと思う。

(委員) 日高市の何か年計画などあるが、その中に図書館のことは入っているのか

(事務局) 入っています。

4. その他

委員の皆様の方の任期为令和4年9月30日までとなっている。

今後も継続してご協力いただける委員の方は、よろしくお願ひしたい。

5 閉 会